

令和2年度第1回長浜市公共施設マネジメント推進委員会 会議要点録

- 1 日時 令和2年10月7日(水) 10:30~12:10
- 2 場所 ながはま文化福祉プラザ 会議室1-C
- 3 出席者 ○委員(10人)
石井委員長、岡井副委員長、片山委員、長谷委員、北川委員、平井委員、
松本委員、米田委員、雨川委員、石田委員
○事務局(6人)
松居総務部長
公共施設マネジメント課:元村課長、内藤副参事、松井主幹、西堀主事
文化福祉プラザ室:西田副参事

4 欠席者 なし

5 傍聴者 なし

6 開 会

- ・松居総務部長から挨拶
- ・定足数の確認
- ・資料の確認
- ・委員、事務局の紹介
- ・長浜市公共施設マネジメント推進委員会についての説明

7 現地視察 (ながはま文化福祉プラザ)

8 議 題

- (1) 長浜市公共施設等総合管理計画の進行管理について
- ・資料3、資料4、資料5に基づき、事務局から説明

【質疑・意見など】

(委員)

- ・ 資料3の総合管理計画と個別施設計画で目標値が異なっているのはどうしてか。
- > 総合管理計画については、財政面から考える今後の不足額から割り出した数値を目標に掲げているが、個別施設計画については、個々の施設において、今後10年間で減らすことが可能と考えている床面積の実数値を目標に掲げている。そのため、目標数値に違いが出ている。

- ・ 総合管理計画では 10 年間で延べ床面積を 6%減少していけば良いと考えているが、個別に施設を考えるとさらに減少できる可能性があるということか。
- そのとおりである。ただし、前倒して解体しやすい施設から着手しているため、今後、解体までに一定時間がかかるものが計画どおりにいかず残っていくこともあり、あとの 10 年計画に先送られることにも理解いただきたい。
- ・ 他の自治体では、財政面から面積減少を考えているものの、実際にはなかなか計画通りには進められないとなっているところが多いが、長浜市はそうではないということか。
- 個別施設計画の中で観光施設や宿泊施設のような施設については、民の力にゆだねていくべく数値を削減できるものとして目標値を設定している。実際に可能かどうかは分からないが、そのような施設の機能や役割をこの 10 年間でなるべく民間に移していきたいと考えている。
- ・ 市としては、総合管理計画の目標値が達成されれば良いと考えているのか。それとも、可能であれば目標値以上の成果を出していきたいと考えているのか。
- 今後、解体や用途を廃止していくのが難しく、足踏みするような時期が来ることを見据えると、早い段階で解体に向けての議論を進めていかなければならないと考えており、減らせるものは減らしていきたいと考えている。また、大きな目標として総合管理計画の数値を持っているが、実行としては、それをより上回る形で進めていき、総合管理計画をクリアしていきたいと考えている。

(委員長)

- ・ 今年度は新規の大型建設施設はないが、来年度から目標年度までにはあるのか。
- 現在、小谷の方に資料館や博物館等の歴史関係の施設があるが、それらの施設を一つに集約し、ミュージアムを建設するものがある。
- ・ 既存の施設をつぶし、一つにまとめるものということか。
- そのとおりである。ただし、この部分だけ切り取って考えると、既存の建物が小さいため、集約後の床面積としては増加してしまう。
- ・ これまでに統合による小中学校の建設をしてきているが、統合前の施設がいくつか残っていると思う。規模も大きく、その除却は非常に重要だと考える。既存の施設は、民間使用や民間売却についての議論もあると思うが、その見通しはどう考えているのか。
- 教育施設については、全施設の約 3 分の 1 を占め、その削減が今後の進行管理に関係すると考えている。現在の統合については、行政改革の視点からのものではなく、子供の教育環境を整える観点で進められ、用途がなくなった学校施設が出てきている。その後の活用として、例えば、浅井の上草野小学校については、民間に無償貸付けを行い、スポーツ関係の施設として利用していただいている。七尾小学校については、民間での利活用を募集したが、現在、結果に表れていない状況である。また、今年度 4 月に統合された杉野小中学校については、既存施設の課題整理をしたうえで利活用を図っていく必要がある。今後も、このような施設がたくさん出てくるのが想定されるが、このような施設の利活用をどのように進めていくか考えていくのが大きな課題の一つだと認識している。

(委員)

- ・ 全体の約3分の1を占めている教育施設について、北の方では統合が進められている中で、旧長浜では放課後児童クラブが増築されていると聞いている。
- 子供の人数の推移を考えると今がピークぐらいであり、今後減少していくことが予想されている。そのため、南郷里小学校など放課後児童クラブを増築しているが、減少した際に対応がしやすいようにプレハブ形式のものを建設している。

(委員)

- ・ 地域限定になるが、空き家になった西浅井の塩津診療所の今後の活用方法はどうか。地元と利用方法を協議して欲しい。
- 現状、処分まで進んでいない状況。医者住宅が附属であり、住んでいる方がいると聞いている。居住者のことや一体解体などの整理がつくと処分方法の議論に入っていく。
- ・ 処分方法の議論に入る際には、地元と利用方法の協議をお願いする。

(委員長)

- ・ 今年度の見通しを説明され、計画上に乗っていることや今後の除却等が確認できた。ミュージアム等の建設もあるかとは思いますが、個別施設計画の厳しめの目標値もあり、2024年までは何とか総合管理計画どおりの目標数値を達成できるという印象を持った。ただ、今後の人口減少を考えると、現計画の40年間で34%の削減をしていくことや、その次の計画でも同じような目標を設定しながら削減していく必要があり、非常に長い取組みになると思う。まだ10年間過ぎたわけではないが、振り返ると、今回の報告にもあったように現地建て替えよりも集約・複合化した方がコストが削減でき、利用者の利便性も上がることが認識されたと思う。学校施設についても、維持管理費がかかることから、利用者がいない場合はどこかのタイミングで除却の決断もせざるを得ないと思う。その削減によって生まれたお金を医療や福祉など別の資金に充てていく方法も考えられるため、公共施設マネジメント課には、今後も、質の向上化を図りながら、公共施設の適正化を進めていって欲しい。また、計画を策定して終わりではなく、この会議で委員の皆さんに報告をし、市民目線の意見も取り込んでいって欲しい。
- ・ 今後の課題としては、インフラの管理があげられる。管理には、莫大な費用がかかり、最近では災害が多く、常に修復をしている状況にあり、施設よりも費用がかかっているところもあるかと思う。インフラの効率化を図るためには、民間に任せるのも一つの方法だと考える。また、長浜市には小さな橋梁がたくさんあり、危険な橋梁については廃止の検討も必要かと思う。今後はインフラについての議論もこの会議でしていただきたいと思う。

8 その他

- ・ 教育委員会「長浜市学校施設等長寿命化計画」のパブリックコメントについて

9 閉会